



簡易ガイド・課題・ナレッジの喪失

同僚が退職します。今、経緯を知っているのは誰？ 書類に尋ねれば、回答が出典を示します。

経験のある人が去ると、背景も一緒に去ってしまうことがよくあります。どの変更が適用されるのか、顧客と何が合意されていたのか、なぜそのように解決されたのか。この簡易ガイドでは、PaperOfficeが文書をどのように結びつけ、答えられるようにし、人が知っていることを残すのかを説明します。

要点を一文で

読み取り、結びつけ、尋ねる。AI-DMSは会社、人物、数字を認識し、Knowledge Graphは関連する文書をつなぎ、チャットは背後の文書を示しながら質問に答えます。

01・課題の内容

ナレッジは頭の中にあり、 散らばったメモの中にもあります。

長年顧客を担当してきた人は、経緯を知っています。合意事項、変更、特別な取り決め。その多くは文書にありますが、フォルダー、メールボックス、ノートに散らばっています。その人が去ると、後任者はまず検索し、周囲に尋ねることから始めます。

なぜ起こるのか

つながりがどこにも書かれていない

契約書、変更覚書、検収報告書は、別々のフォルダーにあります。それらを保存した人だけが、それらが一つのものだと知っています。

メモは個人のもの

機械の設定、電話での取り決め、職人の技は、ノート、メモ用紙、個人のメールボックスに残っています。ほかの人には見えません。

引き継ぎは短い

オンボーディングは数日しか取れないことがよくあります。その間に触れられなかったことは、後任者が後から一人で突き止めなければなりません。

気づくポイント

- 特定の顧客については、詳細を知っている人が一人だけ。
- 一人が去ると、同じ質問が何度も繰り返し出てくる。
- 新しい同僚は、案件の経緯を探すのに長い時間をかける。
- 古い根拠が見つからないため、同じ判断がもう一度下される。
- 手書きのメモは引き出しに入ったままで、必要なときに写真に撮られる。

02・PAPEROFFICEでの進め方

ファイリングが コンテキストになります。

ナレッジは、書き留められ、見つけられ、適切な文書に結びついているときに残ります。PaperOfficeは文書を読み取り、案件としてまとめ、それらについての質問に答えます。人が頭の中で覚えていることは、ナレッジベースに入ります。

1

集めて、読めるようにする

契約書、報告書、メールファイル、スキャンは、アップロード、コネクタ、インポートを通じてWorkspaceに届きます。AI-OCRはスキャンも読み取り、Ultraティアでは手書きも読み取ります。

モジュール: AI-OCR

2

会社、人物、数字

AI-DMS Premium以上では、PaperOfficeはすべての文書から会社、人物、日付、金額、請求書番号と契約番号を読み取り、同じ会社の異なる表記をまとめます。

モジュール: エンティティ

3

案件を認識する

Knowledge Graphは、同じ参照番号、同じ取引先、類似した内容の文書をつなぎます。独自のリンクは、ドラッグ&ドロップで追加できます。

モジュール: KNOWLEDGE GRAPH

4

検索する代わりに尋ねる

チャットは、一つ、複数、またはすべてのWorkspaceにまたがって質問に答え、該当する文書を自ら読み取ります。見つかった文書は回答の下に一覧で表示されます。

モジュール: ドキュメントチャット

5

人が知っていることを残す

ナレッジベースには、チームが記事、よくある質問、スニペットを書き込みます。複数の言語でも可能です。独自のチャットエージェントも、割り当てられたナレッジベースから答えます。

モジュール: ナレッジベース

03・アプリでの操作

メモの束から 答えられる文書へ。

すべての手順は、Webアプリで動作します。Knowledge Graph、エンティティ、タイムラインは、REST APIや、ClaudeやCursorなどで使えるMCPツールとしても利用できます。

1

Premiumで処理する

文書を選び、**アクション**、**エージェントとワークフロー**、**AI-DMS** を選択して、PremiumまたはUltraのティアを設定します。エンティティとリレーションは、この処理の中で作成されます。

2

案件を見る

文書一覧で、**オプション**、**ビューを設定** の下の **トランザクション** ビューを選びます。同じ参照番号、同じ取引先、類似性が、色付きの線として表示されます。

3

自分でリンクする

一つの文書を別の文書にドラッグし、**ドキュメントをリンクする** を選びます。リレーションの種類とメモを入力します。文書はそれぞれの場所に残ります。

4

経緯を時系列で

タイムライン ビューでは、文書が日付順に並びます。文書の中では、**アクティビティ** タブに、期限と担当者付きのメモとタスクが保存されています。

5

尋ねて、残す

エージェントに質問 で質問します。**ソース** のバーには、回答の背後にある文書が表示されます。
Knowledge Base AI、**記事** では、**作成** を選ぶと、ナレッジベースの新しい記事が開始されます。

現場からのヒント

引き継ぎを質問として計画する 誰かが去る前に、後任者が尋ねるであろう質問を集めてください。チャットが文書から答えられるものは、確保されます。残りは、経験のある人がナレッジベースに記事として書き留めます。

04・事例

ある工場が、 親方の知識を確保します。



従業員18名の同族経営の機械工場です。親方は一年後に退職します。機械の設定、顧客との取り決め、修理メモは、彼のノート、整理用のバインダー、メールボックスの中にあります。若い同僚が引き継ぐことになっています。

導入前

- 定期的な顧客についての質問は、親方に寄せられ、多くは工場内での電話になる。
- 彼のノートは、彼独自の仕組みで整理されている。
- 注文、図面、フォローアップの質問は、別々のバインダーに入っている。
- オンボーディングは、見て、尋ねることによって行われる。

PAPEROFFICE導入後

- ノートはスキャンされ、手書きを含めてAI-DMS Ultraで読み取られる。
- Knowledge Graphは、同じ注文番号の文書を一つの案件にまとめる。
- どこにも書かれていないことは、親方が同僚とともに記事としてまとめる。
- 同僚はチャットに尋ね、回答の背後にある文書を開く。

架空の事業を例にした説明です。ご自身のノートで、どれくらいよく読み取れるかを確認し、どの知識がナレッジベースに入るべきかを決めてください。

05・チェックリスト

次の退職に 備えはできていますか？

これらの点は、誰かが去る前に役立つだけでなく、日常業務でも同じように役立ちます。ナレッジが今どこにあり、どのように答えられるようになるかが分かります。

- | | |
|--|---|
| ☐ 主要な担当者ごとに、どの顧客、機械、案件を一人で扱っているかが分かっている。 | ☐ これらの人のノート、メモ、バインダーが集められ、スキャンされている。 |
| ☐ 案件文書のあるWorkspaceは、AI-DMS PremiumまたはUltraで処理されている。 | ☐ 手書きの文書は、手書きが読み取られるよう、AI-DMS Ultraで処理されている。 |
| ☐ その人の保存場所とメールボックスが、コネクタまたはインポートでWorkspaceに入っている。 | ☐ 共通の番号がないが関連する文書は、手作業でリンクされている。 |
| ☐ 後任者の質問が集められ、チャットで一度尋ねられている。 | ☐ どこにも書かれていないことは、社内のナレッジベースに記事として残されている。 |
| ☐ 社内のナレッジベースは公開のものと分けられ、社内のエージェントだけに割り当てられている。 | ☐ グループ権限により、後任者が同じWorkspaceを見られることが確認されている。 |

06・よくある質問

次の退職の前に 決めておくこと

文書には、手作業でタグを付ける必要がありますか？

いいえ。AI-DMS Premium以上では、処理の中でエンティティとリレーションが作成されます。事業上のつながりを記録したい場合は、独自のリンクを追加できます。

古いスキャンや手書きでも機能しますか？

はい。AI-OCRは、AI-DMSの処理中にスキャンされたページを読み取り、その後OCRテキストが検索可能になります。Ultraティアでは、AI-OCRは手書きも認識します。

では、全員がすべてを見られるのですか？

いいえ。チャットとKnowledge Graphには、ログインがアクセスできるWorkspaceだけが表示されます。保護されたWorkspaceは、ロックが解除されるまでチャットではロックされたままです。

どの文書にもないナレッジはどうしますか？

チームがナレッジベースに書き込みます。手順は記事、短い回答はよくある質問、文章のまとまりはスニペットとして残します。ナレッジベースは、独自のチャットエージェントに割り当てます。

回答はどのくらい信頼できますか？

見つかった文書は、すべての回答の下に一覧で表示され、ワンクリックで原本が開きます。そのため、作業に使う前に、すべての記述を出典と照らして確認できます。

誰かが去ったとき、文書はどうなりますか？

文書はWorkspaceに残ります。チームのアカウントを削除すると、PaperOfficeはそのアカウントのアクセス、セッション、グループへの所属を削除します。Workspace内の文書は、そのまま変わりません。

07・始め方

今日一人だけが知っている案件から始めましょう。

アプリにサインインし、一つの案件の文書をAI-DMS PremiumのWorkspaceに入れて、チャットに最初の質問をしてください。料金は利用量に基づきます。詳細は料金ページに記載されています。

重要なナレッジを挙げる

今日、どの顧客、機械、案件が一人の人に依存しているかを書き出してください。

一つの案件をテストする

一つの案件の契約書、変更覚書、やり取りをアップロードしてから、**トランザクション** ビューを開いてください。

データシートを読む

以下のデータシートでは、AI-OCR、エンティティ、Knowledge Graph、ドキュメントチャット、ナレッジベース、タイムラインについて詳しく説明しています。

関連データシート

AI-OCR

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-ocr-ja.pdf

エンティティ

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-entities-ja.pdf

Knowledge Graph

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-knowledge-graph-ja.pdf

ドキュメントチャット

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-document-chat-ja.pdf

ナレッジベース

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-knowledge-base-ja.pdf

タイムライン

paperoffice.ai/downloads/paperoffice-ai-datasheet-timeline-ja.pdf

このテーマの関連情報

ナレッジの喪失

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/problem/ai-knowledge-loss-retention-prevention



このテーマの関連情報

paperoffice.ai/ja/kaiketsu/problem/ai-knowledge-loss-retention-prevention

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase